

しょうがくせい みな  
小学生の皆さんへ

きのう ひさ ね おばやし おか な ひび すがすが きも いちにち はじ  
昨日は久しぶりにタワーベルの音が小林の丘に鳴り響き、清々しい気持ちで一日を始められました。

いま がくねん どうこう がっこう さいかい はじ あらた かん  
今はまだ学年ごとの登校だけれど、いよいよ学校が再開し始めるのだということを、改めて感じました。

まいにち よ あ はや しまえ ひ で むか よる じ す うすあか  
毎日、夜明けがどんどん早くなってきていますね。5時前に日の出を迎え、夜は7時を過ぎてもまだ薄明るい

ことし げし がつ にち ひる なが いちばんなが ころ さ じっかん  
です。今年の夏至は6月21日ですから、昼の長さが一番長い頃に差しかかっているということを実感させ

られます。夏至と冬至では、昼の長さが5時間近くも違うということで、今は本当に明るい時期なのです。

しかし、あたらしい せいかつようしき き つか おお なか つ ゆ ちか こころ  
新しい生活様式で気を遣うことやできないことも多い中、いよいよ梅雨が近づいてくるとなると、心

しず たいよう ひかり こい とき おも だ せいしょ  
は沈みがちになり、太陽の光が恋しくもなるのではないのでしょうか。そんな時に思い出すのが、聖書のみ

ことば  
言葉です。「あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。光の子として

あゆ ひかり ぜんい せいぎ しんじつ しょう しんと てがみ  
歩みなさい。光から、あらゆる善意と正義と真実とが生じるのです」(エフェソの信徒への手紙5:8,9)

イエスさま きぼう ひかり かた し わたし みんな さま むす ひかり  
イエス様という希望の光そのものである方を知った私たちは、皆、イエス様に結ばれて、光としていた

いたのです。わたし みな ひかり こ ことば き げんき で がっこう がお がお  
いたのです。私たちは、皆、「光の子」。この言葉を聞くと、なんだかとても元気が出てきます。学校で顔と顔

あ いっしょ べんきょう ひかり こ たが たが て  
を合わせて一緒に勉強できるようになったのですから、「光の子」として、お互いがお互いを照らすことがで

きるのではないのでしょうか。なかま あ なが きゅうこう あと なか ひと  
きるのでないでしょうか。仲間に会えなかった長い休校の後ですから、クラスの中にその人がいるというこ

と、そして、その人の中にある かがや かがや あらた き ひかり こ いっぱい がっこう  
と、そして、その人の中にある輝くものに改めて気づけるといいですね。「光の子」で一杯の学校で、じめ

じめとした季節も、きせつ きぼう せいかつ  
じめとした季節も、希望とともに生活できますように。

